

## 目 次

I. 総括研究報告	
日本の集中治療臨床情報を基盤として人工知能を用いた本邦発の重症度予測モデルの開発と パネルデータ活用環境の醸成	2
高木 俊介	
II. 分担研究報告	
1. ICUパネルデータのデータベース構築	8
高木 俊介、小林 慎治	
2. ICUデータ活用における標準化についてコンソーシアムの設立	11
高木 俊介, 橋本 悟, 重光 秀信	
3. 遠隔ICUデータを用いた集中治療重症度予測AIモデルの開発	14
高木 俊介, 橋本 悟, 飯塚 悠祐	
4. パネルデータを活用したユースケースの検討	17
飯塚 悠祐, 橋本 悟, 野村 岳志, 長谷川 高志	
5. 重症度アルゴリズムの文献的レビュー	23
大下 慎一郎	
III. 研究成果の刊行に関する一覧表	29
巻末資料一覧	
1. ICUパネルデータのデータベース構築 (資料1) ICUにおけるAI導入に向けた情報標準化について (資料2) 重症系部門システムシミュレーション環境テストデモ画面仕様書	
2. ICUデータ活用における標準化についてコンソーシアムの設立 (資料3) 研究報告会「AIを用いたICU診療の質改善フォーラム」案内ポスター・アジェンダ (資料4) 講演資料_講演 1. 高木俊介20220122	
3. 遠隔ICUデータを用いた集中治療重症度予測AIモデルの開発 (参考資料) 業務報告書「eICU患者の重症度を予測する目的で、患者の6時間後のバイタルサイン の予測値の算出」	